

令和5年度 自己評価・学校関係者評価報告書

学校法人 朝陽学院
あべの翔学高等学校附属朝陽幼稚園

1. 本園の教育目標

- ・子ども達のがのびのびと育っていくような偏りのないカリキュラムのもと、基礎・基本の力を培い、友達との触れ合いの中で、心温かい心身共に健康な人格形成に努める。

2. 本年度重点的に取り組む目標

- ・ 基本的な生活習慣の徹底
- ・ 豊かな感性や創造性を培う
- ・ 運動能力の向上
- ・ 遊びや経験、異年齢との関わりを通して、思いやりの心を育てる
- ・ 健康、安全教育の充実

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

	評価項目	評価	取り組み状況
1	【教育課程・指導】 ・ 定期的な会議を通して教職員間の共通理解をはかる	A	・ 全教職員で幼稚園教育要領の理解をし、具体的に保育活動や行事に沿わせて話し合いを行っている。 ・ 現状に合った目標や指導方法、関わり方を定期的に教職員で確認し合っている。
2	【安全管理】 ・ 危機管理マニュアルや備蓄品の見直しを図った	A	・ 危機管理マニュアルにおける不審者対応、地震発生時の対応、お並び時の対応を強化している。 ・ 備蓄品の見直しを行い、防災リュックの買いなおしを行った。
3	【研修（資質向上の取り組み）】 ・ 教職員の資質向上の為に、園内外の研修を充実させる	A	・ 職員がそれぞれ受けた園外研修について、職員会議で報告することにより共通理解を図るとともに指導に取り入れ、各々が工夫して指導することが出来ている。

評価（A…十分に成果があった B…成果があった C…少し成果があった D…成果がなかった）

4. 総合的な評価結果

評価	理由
A	コロナ禍が明け、園児に対しても関わり方が慎重になったり、行事の開催方法が変わっていく中で、重点目標を意識した幼稚園活動を行うことで、より目標に合った指導を明確に行うことができた。

評価（A…十分に成果があった B…成果があった C…少し成果があった D…成果がなかった）

5. 今後取り組む課題

	課題	具体的な取り組み方法
1	鑑賞会の見直し	鑑賞会の種別を増やし、園児の豊かな感性に繋げる
2	環境	園内の環境・設備を整え、より過ごしやすい幼稚園にする
3	園に対する保護者満足度の把握	定期的に保護者が期待する幼稚園像を把握し意識の向上や改善を図る。 保護者アンケートの回答率 38%→50%→60%→80%へ

6. 学校関係者評価委員による評価

教育目標通り、子どもたちがのびのびと育っていると感じる。また、行事の都度、工夫や改善を重ね、目標以上に充実した園活動になっていた。今後、さらにより良い幼稚園となるよう、課題に対する取り組みに期待したい。